

平成 29 年度 海外療養費・出産育児一時金・外国人の被保険者の国内での診療費に関する状況（様式 7）の作成手順

I. 様式 7-1（保険者入力票）の入力方法等

1 一般的注意事項

- （1）市町村は、送付した「様式 7 海外療養費等.xlsx」により作成・提出することとし、手書きや異なる様式での提出はしないこと。
- （2）シートの保護を外して修正することや、行、列の追加・削除、または、セルの書式変更などは行わないこと。
- （3）平成 30 年 3 月 31 日現在の保険者名で作成すること。
- （4）平成 29 年度に海外療養費・出産育児一時金・外国人の被保険者の国内での診療費の支給決定がなされた事案について入力すること。
- （5）市町村は、当該ファイルを都道府県あて提出すること。

2 入力シート（調査事項）への入力

（1）都道府県番号・保険者番号

都道府県番号及び保険者番号を「都道府県 - 保険者番号」欄に数値にて入力すること。

（例） 『北海道札幌市』の場合

都道府県番号「01」、保険者番号「001」のため、「**01001**」と半角で入力すること。

（2）都道府県名・保険者名

- （1）を入力することにより自動転記される。

(3) 「1. 海外療養費の申請件数等」

「(1) 申請者の国籍内訳」について、平成29年度に海外療養費の申請があった事案のうち、申請者(世帯主)が日本国籍の場合は下の表の①を記入し、そのうち、海外療養費の支給後になお残る一部負担金が高額療養費の支給対象となり、申請の受付及び支給を行ったものについて②にご記入いただき、同様の考え方で、申請者が外国籍の場合は③、④をご記入ください。

また、「(2) 療養を受けた者の国籍内訳」について、平成29年度に海外療養費の申請があった事案のうち、療養を受けた者が日本国籍の場合は⑤を記入し、そのうち、海外療養費の支給後になお残る一部負担金が高額療養費の支給対象となり、申請の受付及び支給を行ったものについて⑥にご記入いただき、同様の考え方で、療養を受けた者が外国籍の場合は⑦、⑧をご記入ください。そのため、例えば、国民健康保険に加入している夫婦(世帯主の夫が日本国籍、世帯員の妻が外国籍)で、妻が海外で療養を受けたときは、「(1) 申請者の国籍内訳」の①(高額療養費に該当していた場合は②にも記入)と、「(2) 療養を受けた者の国籍内訳」の⑦(高額療養費に該当していた場合は⑧にも記入)を記入してください。

「うち、高額療養費該当」欄には、海外療養費の支給後に、なお残る一部負担金が高額療養費に該当したため、高額療養費を支給した件数及び支給額を記入してください。

なお、赤枠で示している「(1) 申請者の国籍内訳」の合計欄と「(2) 療養を受けた者の国籍内訳」の合計欄には同じ数値が入ります。

また、申請の時期と支給決定(または不支給決定)の時期について、年度が跨がる場合、平成29年度に支給決定(または不支給決定)がなされた案件に対しての状況を記入してください。

【対象となる事案】

○平成28年度に海外療養費の申請があり、平成29年度に支給決定(または不支給決定)がなされた。

【対象外となる事案】

○平成29年度に海外で療養を受け、平成30年度に当該療養にかかる海外療養費の申請がなされた。

(例)

(1) 申請者の国籍内訳

	申請者					
	日本国籍		外国籍		合計	
	①海外療養費		③海外療養費		海外療養費	
	②うち、高額療養費該当		④うち、高額療養費該当		うち、高額療養費該当	
申請件数	10 件	5 件	8 件	3 件	18 件	8 件
支給件数	8 件	4 件	7 件	1 件	15 件	5 件
支給額	120,000 円	50,000 円	100,000 円	30,000 円	220,000 円	80,000 円
不支給件数	2 件	1 件	1 件	2 件	3 件	3 件

合計欄には同じ数値
が入ります。

(2) 療養を受けた者の国籍内訳

	申請者					
	日本国籍		外国籍		合計	
	①海外療養費		③海外療養費		海外療養費	
	②うち、高額療養費該当		④うち、高額療養費該当		うち、高額療養費該当	
申請件数	8 件	3 件	10 件	5 件	18 件	8 件
支給件数	8 件	3 件	7 件	2 件	15 件	5 件
支給額	120,000 円	30,000 円	100,000 円	50,000 円	220,000 円	80,000 円
不支給件数	0 件	0 件	3 件	3 件	3 件	3 件

(4) 「3. 海外での出産に対する出産育児一時金の申請件数等」

「(1) 出産育児一時金の総支給件数・総支給金額の国籍別内訳」について、平成29年度に申請のあった出産育児一時金うち、出産した者が日本国籍の場合は下の表の①を、外国籍の場合は②をご記入ください。

また、「(2) 海外出産に対する出産育児一時金の申請者の国籍内訳」について、平成29年度に申請があった海外での出産に係る出産育児一時金のうち、申請者が日本国籍の場合は③を、外国籍の場合は④をご記入ください。そのため、例えば、国民健康保険に加入している夫婦（世帯主の夫が日本国籍、世帯員の妻が外国籍）で、妻が海外で出産をしたときは、「(2) 海外出産に対する出産育児一時金の申請者の国籍内訳」の③と、「(3) 海外出産に対する出産育児一時金の出産をした者の国籍内訳」の⑥を記入してください。

なお、赤枠で示している「(2) 海外出産に対する出産育児一時金の申請者の国籍内訳」の合計欄と「(3) 海外出産に対する出産育児一時金の出産をした者の国籍内訳」の合計欄には同じ数値が入ります。

また、申請の時期と支給決定（または不支給決定）の時期について、年度が跨がる場合、

平成29年度に支給決定（または不支給決定）がなされた案件に対しての状況を記入してください。

【対象となる事案】

○平成28年度に海外での出産に係る出産育児一時金の申請があり、平成29年度に支給決定（または不支給決定）がなされた。

【対象外となる事案】

○平成29年度に海外で出産し、平成30年度に当該出産に係る出産育児一時金の申請がなされた。

【その他の留意事項】

※以下、出産育児一時金＝1件：404,000円（産科医療保障制度利用時：420,000円とする。）

○ 双子などの、多胎児出産により1度に複数人分の支給を行った場合は、子供1人につき1件として計上し、金額は支給総額を記入すること。

例）双子の場合 ⇒ 件数…2件、支給額…840,000円（420,000円×2）

○ また、直接払い制度を利用時に、出産費用が420,000円に満たなかったため、差額の支給を行ったものについては、1回の出産であることから、1件として計上すること。

例）直接払い利用＋差額支給 ⇒ 件数…1件、支給額…420,000円（直接払い制度の出産費用＋本人支給額）

（1）出産育児一時金の総支給件数・総支給金額の国籍別内訳

	支給件数・支給額		
	①日本国籍	②外国籍	合計
支給件数	50 件	5 件	35 件
支給額	12,600,000 円	2,052,000 円	14,652,000 円
不支給件数	2 件	2 件	4 件

（2）海外出産に対する出産育児一時金の申請者の国籍内訳

	申請者		
	③日本国籍	④外国籍	合計
申請件数	5 件	3 件	8 件
支給件数	5 件	1 件	6 件
支給額	2,020,000 円	404,000 円	2,424,000 円
不支給件数	0 件	2 件	2 件

（3）海外出産に対する出産育児一時金の出産をした者の国籍内訳

	出産をした者		
	③日本国籍	④外国籍	合計
申請件数	3 件	5 件	8 件
支給件数	3 件	3 件	6 件
支給額	1,212,000 円	1,212,000 円	2,424,000 円
不支給件数	0 件	2 件	2 件

合計欄には同じ数値が入ります。

(5) 「4. 外国人の被保険者の国内での診療費等について」

「(1) H29.3～H30.2 診療分における、医療費（医科・DPC・調剤）に占める外国人被保険者の状況」には、**H29.3～H29.3～H30.2 診療分の医療費（医科・DPC・調剤）**のレセプト件数・総医療費・高額療養費該当件数・高額療養費支給額について、医科・DPC・調剤の合計件数・金額を記入すること。

なお、①～④については、すべての被保険者に係る数値を入力し、⑤～⑧には、外国人被保険者の数値（①～④の内訳）を記入すること。

また、高額療養費該当件数には、高額療養費（現物給付分）が発生していた件数（国保連合会から提供されるレセプトデータに高額療養費（現物給付分）のデータがあった件数）を記載し、高額療養費支給額には、その支給額の合計額を記載すること。（償還払い分や世帯合算については考慮不要。）

	医科・DPC・調剤レセプトの合計				外国人被保険者の割合
			うち、外国人被保険者		
件数	①	件	⑤	件	#DIV/O! %
総医療費	②	円	⑥	円	#DIV/O! %
高額療養費該当件数	③	件	⑦	件	#DIV/O! %
高額療養費支給額	④	円	⑧	円	#DIV/O! %

「(2) (1)のうち、高額レセプト（80万円以上）に占める外国人被保険者の状況」には、(1)のうち、総医療費が80万円以上（8万点以上）のレセプトをそれぞれ抽出し、記入すること。(1)と同様、⑨・⑩にはすべての被保険者に係る数値を入力し、⑪・⑫には、外国人被保険者の数値（⑨・⑩の内訳）を記入すること。

	高額レセプト（医科・DPC・調剤計）				外国人被保険者の割合
			うち、外国人被保険者		
件数	⑨	件	⑪	件	#DIV/O! %
総医療費	⑩	円	⑫	円	#DIV/O! %

※1 レセプトデータの抽出作業を、各都道府県国民健康保険団体連合会に依頼する場合の手続き等について、現在調整中であり、詳細が決まり次第、別途お知らせします。

※2 「外国人被保険者」については、住民記録から国籍等が把握できない者が含まれる可能性があります。保険者において「外国籍を有する」と確定できない者については、外国人被保険者として扱う必要はありません。

Ⅱ. 様式7-2（都道府県集計票）の入力方法等

1. 一般的注意事項

- (1) 都道府県は、送付した「様式7 海外療養費等.xlsx」により作成・提出することとし、手書きや異なる様式での提出はしないこと。
- (2) 集計に影響が及ぶため、セルの切り取り・貼り付けなどは絶対に行わないこと。
- (3) 「Ⅰ. 様式7-1（保険者入力票）の入力方法等」を参考にし、市町村から提出されたシートに入力漏れ等がないかを必ず確認すること。
- (4) 当該ファイルを提出する際は、ファイル名の先頭に「都道府県番号」の2桁（下記を参照）を入れて提出すること。

(例) 『北海道』の場合

都道府県番号「01」のため、ファイル名は「01 様式7 海外療養費.xlsx」となる。

2. 都道府県による必要事項の入力

- (1) 都道府県番号・保険者番号

都道府県番号を「都道府県番号」欄に数値にて入力すること。

(例) 『北海道』の場合

都道府県番号「01」と半角で入力すること。

3. 集計方法及び報告

- 「都道府県集計用」シートからのデータ貼り付け（集計）

市町村より報告のあった Excel ファイルの「貼付元」シートにある必要項目（2行目）をコピーし、「貼付先」シートの2行目以降にそれぞれ貼付すること。（順不同）

なお、貼付の際は、「形式を選択して貼り付け」により、「値」のみを貼付すること。

- 報告

管内の全保険者分が入力されているかを確認し、当該ファイルを平成30年9月28日（金）までに、担当宛メールにて送付すること。